

洲  
本

高  
校



「未来探究東京ツアー」  
H27.8.5~7

# ご挨拶

同窓会長 永田秀一



(高14期)

この度、歴史と伝統に輝く洲本高校同窓会会长を拝命致しました永田秀一でございます。素より、浅学非才その器ではありませんが、先輩諸兄を始め、多くの皆様のご指導をいただき、その責務を全うしてゆく所存でございますので、今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

洲本高校の数が極端に減つてゐるのが気がかりです。減少時代を迎えていきます。それと共に子供達の数が極端に減つてゐるのは気がかりです。

兵庫県では、新通学区域制度を平成27年度より導入し、16学区から5学区へ再編され、淡路は、神戸、芦屋と同じ学区になります。又、複数志願選抜制度の導入や各校の魅力、特色について発信してゆくことが強く求められています。

洲本高校の魅力を更に高めてゆかねばなりません。

昨年、11月22日に第10回洲本高校同窓会東京支部総会にお招きいただき、「祖父永田秀一郎の生き方、考え方」と題

して講演をさせていただきました。祖父は、洲本中学を卒業していませんが、明治35年から37年まで第3代洲本中学校長を勤めています。その時洲本中学でストライキがおこり、生徒達が誰も登校しないという異常事態となり、その仲裁役に秀次郎が呼ばれました。その時のストライキの中心となっていたのが、後の東京大学名誉教授や法政大学長を勤めた日本を代表するマルクス経済学者の大内兵衛先生であります。そしてこの度、私が洲本高校同窓会のお世話を勤めた日本を代表するマルクス経済学者の大内兵衛先生でありました。そしてこの度、私が洲本高校同窓会の志望校として、新しい歴史を刻んでゆかねばなりません。

「至誠、勤勉、自治、親和」の校訓の下、洲本高校も、県下有数の歴史を誇る伝統校として、新しい歴史を刻んでゆ

5月8日(金)、定時制集会室で、洲本高校定時制第68回創立記念式が催されました。記念講演は本校定時制15期生の細川良美さんが「相続、あなたの取り分けは?」と題して、これまでの経験や司法書士としての専門性を活かしたお話を聞いてくださいました。細川さんは国家公務員として大阪の法務局で勤務されたあと、淡路で司法書士事務所を開かれています。

## 定時制第68回創立記念式

### 生徒の声 (抜粋)

☆親から相続の話を少し聞いたけど、細川さんの話を聞き、知らなかつたことも分かつたのでよかったです。

(Y)

将来絶対自分にもかかわることだと思うので、聞けてよかったです。

(I)

生徒会長 龜谷紀香



それを化学的に結論づけてみよう、という話です。私達の生活と化学とを結びつけて話してくださいましたことで全生徒にとつて楽しめたこと裏づけるのが、講演後の質疑応答の多さです。約10名の生徒から、繁森さんへ質問があり、時間いっぱい使って、繁森さんも丁寧に答えて下さいました。私達生徒にとつてとても貴重な時間となりました。講演後は希望者が集まり、講演内では語られなった発展的なお話をして頂きました。その後、今後の進路についての相談にも乗つていただきました。丸一日かけて、私達に大切なことを教えてくださいました。丸一日かけて、私達に大切なことを教えてくださいました。繁森さんに改めてお礼を申し上げます。



## 第118回創立記念式典

それを化学的に結論づけてみよう、という話です。私達の生活と化学とを結びつけて話してくださいましたことで全生徒にとつて楽しめたこと裏づけるのが、講演後の質疑応答の多さです。約10名の生徒から、繁森さんへ質問があり、時間いっぱい使って、繁森さんも丁寧に答えて下さいました。私達生徒にとつてとても貴重な時間となりました。講演後は希望者が集まり、講演内では語られなった発展的なお話をして頂きました。その後、今後の進路についての相談にも乗つていただきました。丸一日かけて、私達に大切なことを教えてくださいました。丸一日かけて、私達に大切なことを教えてくださいました。繁森さんに改めてお礼を申し上げます。

アーティスト

定時制教頭  
木林秀雄



同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。平素は、本校の教育活動に対しても、ご理解とご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

私は、昨年4月より定時制教頭としてお世話になつておられます木林秀雄と申します。よろしくお願ひいたします。

私にとつて洲本高校での勤務は、昭和63年4月着任以来2度目ということで、とても懐かしい思いがしております。また同時に、毎日が心地良い緊張感の中、清々しい気持で勤務させていただいております。

島内唯一の定時制高校である洲本高校・定時制には、今年度92名（1年生34名、2年生20名、3年生25名、4年生13名）の高校生が学んでいます。一人一人、生まれも育ちも個性も異なり、それぞれが4年間（もしくは3年間）の学業を修得することで、就職

や進学という更なるステップアップを目指しています。現在、定時制では約70%の生徒が昼間に仕事やアルバイトを取り組んでおり、夕方からの学業との両立は大変苦労があると思いますが、元気に通学しています。

元来、定時制高校は、「働く青少年に高等学校教育を保障するとともに、多くの有為な人材を育成する」という目的で設置されました。時代が移り変わり、社会状況が大きく変化する中で、定時制高校の果たすべき役割も変化してきました。本校においても、過年度卒業生や不登校経験生徒など、多様な生徒たちを受け入れている現状があります。このような生徒たちが毎日休まず学校に通い、その生徒たちを温かく支援し、自立させていくことが本校に課せられた使命だと確信しています。

そのため、社会性や基本的な生活習慣を身につけさせると同時に、社会人として必要な基礎学力やコミュニケーション能力の育成と定着が、ますます重要になってきています。

本校は、「魅力ある学校づ

校生はもちろんのこと、今後の高校入試を迎える中学生やその保護者、また広く地域社会の皆さんに向けたメッセージ一級もあります。日々の授業や様々な学校行事、体験活動に積極的に取り組むことで自信を得て、先生方や生徒、保護者、先輩、地域の皆さんとつながることで自己有用感を持つこと。そのことを糧にして、自らの進路を切り開き、大きく成長した姿で社会に羽ばたいてほしいというのが、教職員一同の願いです。

最後になりましたが、会員の皆様のますますのご健勝と、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

A cluster of ten hand-drawn dragonflies scattered across the page. The dragonflies are drawn with simple black outlines and small wings.

二四

洲本高校として4回目となる「未来探究東京ツアーア」が、8月5日～7日に実施され、総合探究類型2年生の生徒22名が、東京の企業・大学・研究施設を訪問しました。概要は次のとおりです。

(三)

・理型の生徒は、東京工業大学大学院理工学研究科化學専攻の瀧川紘助教授（高51期）に有機化学合成や大学院のことにについてご説明いただき、研究室や図書館を見学。  
・スポーツ型の生徒は、味の素（株）の天羽賢次広告部長（高29期）のご紹介で、味の素ナショナルトレーニングセンターでオリンピック選手のトレーニング設備を見学。

生徒たちは、洲本高校の同窓生が東京で活躍されていることに心強さを感じるとともに、お会いできた皆様の考え方や存在感をとおして、より大きな世界に触れることができた様子でした。最後になりましたが、企画から実施に至るまで、多くの同窓生の方々にお力添えいただき、今回の貴重な機会を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

「未来探究東京ツアーア」のご報告

学類長の繁森英幸理学博士（高33期）のご指導で実験。午後はJAXA筑波宇宙センターを見学。  
・スポーツ型の生徒は筑波大学で体育総合実験棟（SPEC）と球場を終日見学。

（二日目）  
・理型の生徒は、午前中、筑波大学生命環境学群生物資源

・夜は同窓会東京支部の方々との懇親会があり、同窓会東京支部の津田喜人支部長をはじめ6名の方々をお迎えし、上京のきっかけ、生活の様子、仕事内容など、生徒からの質問に気さくにお答えいただ

# 恩師からのおメッセージ

いまも元気ですか



北原文雄

(高16期)

洲高へ転勤してきたのは、1980(S55)年4月、34歳のときである。高校時代の34歳のときまで勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。恩師がまだ多く勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。

洲高35期生が3年間担任をした最初の学年で、いまでも思ひ出せば、赤面するほどの失敗の連続だった。それでも学生の生徒に恵まれ、感動的な卒業式に臨めた。38期生からは「猫にもわかる古典文法」「論文は任せた」と話した。在職中、詩や小説を書いていたことは、生徒の前では話さなかつた。授業でも文学作品はさらっと流してきた。国語教育は文学教育ではないとただいた。

卒業文集などによく書いたことがある。「卒業後の生き方をしてほしい」と声をかけてくれるかといふことについて、自ら語り合えるようになりたい。今年の正月2日には35期生と、52期生の同窓会を掛け持ちした。もうひとつは洲高へ転勤してきたのは、1980(S55)年4月、34歳のときである。高校時代の34歳のときまで勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。恩師がまだ多く勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。

洲高35期生が3年間担任をした最初の学年で、いまでも思ひ出せば、赤面するほどの失敗の連続だった。それでも学生の生徒に恵まれ、感動的な卒業式に臨めた。38期生からは「猫にもわかる古典文法」「論文は任せた」と話した。在職中、詩や小説を書いていたことは、生徒の前では話さなかつた。授業でも文学作品はさらっと流してきた。国語教育は文学教育ではないとただいた。

卒業文集などによく書いたことがある。「卒業後の生き方をしてほしい」と声をかけてくれるかといふことについて、自ら語り合えるようになりたい。今年の正月2日には35期生と、52期生の同窓会を掛け持ちした。もうひとつは洲高へ転勤してきたのは、1980(S55)年4月、34歳のときである。高校時代の34歳のときまで勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。恩師がまだ多く勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。

洲高へ転勤してきたのは、1980(S55)年4月、34歳のときである。高校時代の34歳のときまで勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。恩師がまだ多く勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。

洲高へ転勤してきたのは、1980(S55)年4月、34歳のときである。高校時代の34歳のときまで勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。恩師がまだ多く勤務されていて、生徒のときにできの悪かついだ私は、日々緊張していた。

と報告を受けました。

高田章司教諭の乾杯で始まり、皆さんの近況報告を受け、

大変盛り上りました。

最後に、来年の定時制の総

会は5月第3日曜日を予定してありますと説明があり、又

来年も元気で会いましょうで

閉会しました。



## 平成26年度洲高東京支部活動概要報告

1 役員会 5月・7月・9月・10月・2月・3月の計6回開催  
会報作成会議、総会・懇親会開催準備会議、総会・懇親会講演者の依頼選定、会計監査審議会、総会・懇親会に向け、参加者増員への方策を重点的に話し合いました。

2 東京兵庫県人会主催行事に参画、兵庫県の各高等学校同窓会東京支部の役員交流会に参画  
東京兵庫県人会会報「ふるさとひょうご」に、洲高同窓会東京支部の活動を掲載し紹介。(松下支部長によるインタビューによる)

3 洲高生「未来探究東京ツアーワーク」交流会実施  
今年で3回目となつた「未来探究東京ツアーワーク」。東京近郊の会社、施設の見学を実施され、8月5日に参加者

（在校2年生）22名と東京支部役員8名との歓迎懇親会を行いました。参加生徒からは、「いろんな分野で活躍している先輩の話が聞け、見解の幅が広がった。」等々の感想が聞けました。

4 東京支部会報「東京・洲高」第8号を発刊  
洲高を応援しよう洲高魂レーズとして、総会・懇親会の模様をリアルに伝えるべく、カラー印刷にすると共に手作り感のある紙面で作成した。

5 11月22日（土）洲高東京支部総会・懇親会を東京霞ヶ関ビル35階の「東海大学校友会館」において開催  
総会議審実施、また講師として永田秀一様（洲高14期・1962年卒）を招聘し、『永田秀次郎の生き方、考え方』の題目で講演会を行いました。

懇親会では淡路の地酒やみかんなどを味わいながら和氣あいあいと話しの輪が広がりました。また、役員の知恵を結集して、手作りの楽しい催し事として、故郷の東京での仕事・活躍ぶり紹介、同窓会・懇親会風景、役員2名の東京での仕事・活躍ぶり紹介、東京支部役員紹介、同窓会だよりや洲高生「未来探究東京ツアーワーク」交流会の景況等を記事に満載して、皆様に大変好評を得ました。

最後には、全員で洲高校歌を合唱し、お土産の淡路特産品と故郷クイズ大会の景品を手に再会を約束しました。

平成26年11月3日(文化の日)に16期生同期会(「天地会」)を開催。物故者・体調不良者が増え、行事の多い日で出席者は666名にとどまつた。16期生は同窓会ではなく、同期会と呼ぶ。同期会を使う最後の学年かもしない。会の名称「天地会」は故喜田実先生のネーミングで、5年ごとに開催、今回で6回目となる。地区ごとの会は小天地会と呼び、「淡路小天地会」は毎年開催、京阪神の「近畿小天地会」、関東の「東京小天地会」も活発である。卒業50周年は同期の大半が70歳になるので、卒業50周年古稀記念「天地会」として開催。準備会の中で、で最後の「天地会」にしようという声が、暗黙の了解事項となつていた。これまで毎回記念冊子をつくり、同期生の記念講演、アトラクションにも趣向を凝らしてきたが、今回は料理とお酒とお喋りを楽しむ会にしようと申し合わせた。編集に1年以上もかけて、  
「卒業30周年記念誌「天地会」」という220ページの冊子を出版したこともあるが、卒

洲高16期 卒業5周年（古稀）記念「天地会」報告

いう声はなかつた。  
会は坦々と進むはずであつたが、世話人代表の藤岡三之輔君の、開会挨拶から爆笑騒然となつた。挨拶を書いた長い巻物を、ひらひらと舞台で放り投げるように広げ、高校時代の思い出、当時の社会状況、流行歌・映画などを滔々と読み始めたからである。

籠谷強・喜田剛史・鈴木孝の3先生にご出席を賜わり、花束贈呈後、ご挨拶を頂戴した。籠谷先生が一家をあげて信州佐久へ移住するというお話を衝撃が大きかつた。後日、籠谷先生を送る会を計画することとなつた。

のしみ、さらにスナックへ、寿司屋へと繰り出す。冒頭の事務局報告で、今回の「天地会」を最後とし、今は地区ごとの小天地会で交流をたのしむ、場合によっては小天地会の合同開催もよしとの提案に、異論はなかった。約30年ほど事務局を担当してきたが、肩の荷がおりた感で、ほつとしているところである。



高  
17  
期

10月18日、エクシブ淡路島にて17期生は卒業50周年を記念し同窓会を開催。開催に先立ち出席者42名の記念撮影、テーブル席は全員抽選で男女交互に座ることになりました。最初に先月亡くなつた浜口君とこれまでの故人に対し黙祷

真つ最中の4月25日（土）、島外から来られる人の事を考えて、第9回洲本高校19期生同窓会をレストラン“御食国”を貸し切つて開催致しました。幸い好天に恵まれ、外での記念写真もバツチリでした。12時から宴開始。恩師でたまたま一人、91才のご高齢にもかかわらず、喜び勇んで“と御出席下さいました奥野先生をはじめ、全国津々浦々から集まつた87名の同窓生の総勢88名の宴が始まりました。各クラスごとにテーブルを囲み、卒業以来初めて出席された方もおられ、48年間の積もる話に話



洲高19期

冥福を祈りました。改めて世人話人代表が挨拶、続いて元生徒会長の乾杯の音頭で懇談。会食が始まりました。しばらくしてスクリーンが登場、高校時代のスナップ写真から最近の写真に至るまで続々と映し出され、懐かしの曲とともに当時のエピソードが飛びかい会場はおおいに盛り上がり上がりました。次に全員の一分間スピーチではタイムオーバーする者が続出、閉会寸前までギリギリとなりましたが、これもまた愛嬌、最後の合唱は出来ず仕舞でしたが、とても楽しい有意義なときを過ごせました。再来年、古希での再会を皆で約束し散会となりました。



(上) 私達32期生は、8月15日  
に海月館にて同窓会を行いました。  
最高気温35℃の猛暑の中、  
汗をおさえながらも笑顔で記念撮影を行なつた後、総勢91名が分かれたテーブルに着席し、代表幹事の開会の挨拶により、会がスタートしました。まずは、ご出席下さった、田中三喜先生、広田邦芳先生、栗尾功先生から、お言葉をいただきました。中でも、わざわざ三田より明石海峡大橋を渡つてお越し下さった栗尾先生から、昔と変わらぬ笑顔で、「洲本高校が一番印象に残っている」とのお言葉をいただき、非常に嬉しく思いました。その後、田中三喜先生に乾杯の音頭をとつていただき、クラスごとに、あるいはクラスごとに、あるいは時代の話を花を咲かせました。

洲高32期

の輪が広がり、それはそれは  
賑やかな宴となりました。  
これからは人生の決算期。今  
日の出会いで得られたいろいろな  
生き方を参考にして、エンデイ  
ングに向けて充実した日々を送ることを確認しあい、  
次回の第10回同窓会を「古希  
の祝い」とすることを約束し  
て、3時間の宴の幕を閉じま  
した。最後に、多くの方々の  
ご尽力で、無事同窓会を開催  
できました事に心からお礼を  
申し上げます。



洲高35期

第3回 同窓会

的でした。5年後には、今回  
参加できなかつた人も集まつ  
て、より多くの人数で楽しい  
時を過ごしたいと願つています。  
(代表幹事)

はじめに、先生方より往事を偲んだなつかしいお話を現在のご様子を語つていただけでした。お話し振りから、先生が豊かに充実した人生を送られているご様子が感じられ、同窓生一同、敬意の念をもつて思ひ出されるとともに、現在も豊かに充実した人生を送られたました。お話を聞く限り、花火大会では、思い出話に花火が咲き、近況を語り合い、笑い声や歓声が湧き上がるといつそう強くしつつ、ありがたく拝聴いたしました。

つづいて開宴となり、あちらこちらでは、思い出話に花火が咲き、近況を語り合い、笑い声や歓声が湧き上がるといつそう強くしつつ、ありがたく拝聴いたしました。そして繰り広げられました。その後で、和気藹々としたムードが広がる中、アトラクションが行われました。テレビ番組で今話題の『ナイナイのお見合い回転寿し』です。イスで二重円をつくり、外側には男性が座り、笛の合図と共に、つづつ席を横へ移動していく

私達35期生は、平成27年1月2日、第3回目の同窓会を淡路夢泉景において開催しました。ご来賓として、鍛陸彦先生、白井篤子先生、北原文雄先生、堀修造先生、神田進先生の5名もの恩師の方々が参加してくださいり、同窓生は80名が出席して、再会を祝しました。

最後に鍛先生の指揮のもと、校歌、応援歌を齊唱し、母校の益々の発展を願い、同窓会を締めくくりました。



洲高50期

同窓会報生

回のような同窓会を持ち、心をなごませつつ、親睦を深められればと、世話人一同、切に願つております。

卒業後17年を経ての再会。高校時代の面影を少し残しつつも、社会の荒波にもまれた十数年分の貫録がどの顔にも立刻まれておりました。30代半ば、各方面において己の力が試される時ですが、同窓生のいろいろな話や境遇を聞き、互いに大いに刺激を受けました。

歓談の後、先生方からのご挨拶をいただきました。先生方のお言葉を聴くにつれ、まだまだ自分達が勉強の身、成長の途上であることに気づかされました。

最後にわれら「五十輝星」の一人一人がそれぞれの場で光量を増していくことを誓いつて会を閉じることになりました。

(記 井上智仁)

平成27年1月2日、ホテルニューアワジにて前回から十数年ぶりとなる同窓会を開催しました。神田先生・来馬先生・伊達先生・森本先生の4名の恩師をお迎えして111名の同窓生（男子48名、女子63名）が集合しました。正月の只中でしたが、家族を残したままこの会のために関東から帰省してきた人もおり、洲高の求心力と50期の団結力をあらためて実感しました。

平成27年1月2日 タイム  
アフタータイムにて、高校卒業  
後15年、前回より10年ぶりとなる同窓会を開催いたしました。年始のご多用中にも関わらず、北原先生、野口先生、東先生をお迎えし、同窓生90名とともに楽しいひとときを過ごすことができました。多くのみなさんが久しぶりの再会ではありましたが、自然に笑顔と懐かしい顔が出てきました。

## 同窓会報告

**洲高52期**



言葉が出てきました。会場でご挨拶では、主任の北原先生より、次は十年後ではなく五五年後くらいに：と、次回の同窓会を楽しみにしてくださいました。お言葉を頂戴し、大変嬉しく、そして次の開催を楽しみに思いました。

ご参加いただきました皆様、お世話になりました皆様、本当にありがとうございました。

スマスマアフタータイムの皆様、富士スタヂオcadeauの皆様、本当にありがとうございました。

はじめまして。東京で声優をやつております。興津和幸

と申します。

以前は「せいゆー？」何そ

れ？？

「え？ 漫画の声？」そ

う

なん

なん

仕事

になんの？」と、

思

い

ま

う

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く

な

く</p

# 部活動報告①

## 水泳部



### 第69回近畿高等学校選手権水泳競技大会

(H27. 7. 23 ~ 25)

女子 50m 自由形 松岡 弥玖 4位

女子 100m 自由形 松岡 弥玖 出場

女子 400m リレー 出場

### 平成27年度全国高等学校

### 総合体育大会水泳(競泳)競技 (H27. 8. 17 ~ 20)

女子 50m 自由形 松岡 弥玖 出場

女子 100m 自由形 松岡 弥玖 出場

### 第70回国民体育大会水泳競技大会

[紀の国わかやま国体] (H27. 9. 11~13)

少年女子A 50m 自由形 松岡 弥玖 出場

400m リレー 松岡 弥玖 出場

## 邦楽部

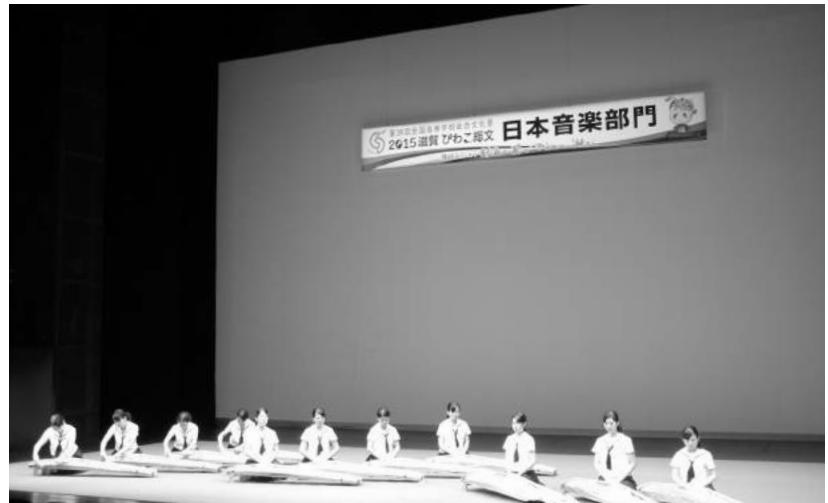
### 第39回全国高等学校総合文化祭

#### 日本音楽部門出演

「妖精～エルフ」

全国大会を通して、部員一人一人が成長できました。これからも、私たちらしい演奏が出来るよう日々精進していきます。

部長 松原由布子



## ボート部

### 平成27年度全国高等学校総合体育大会ボート競技

(H27. 7. 30 ~ 8. 3)

男子クオドルブル 準々決勝進出

女子クオドルブル 出場

男子ダブルスカル 出場

女子ダブルスカル 出場



### 表紙写真説明

上 懇親会場にて 同窓会東京支部の方々と

中左 メディセオ本社にて

渡辺秀一氏(高23期)からお話をうかがう

中右 筑波大学にて

繁森英幸氏(高33期)のご指導で実験を行う(理型)

下 天羽賢次氏(高29期)のご紹介で味の素ナショナルトレーニングセンターを見学(スポーツ型)

# 部活動報告②



## 放送部

第62回 NHK杯全国高校放送コンテスト  
全国大会 (H27. 7. 20 ~ 24)

創作テレビドラマ部門「一步の勇気」

Nコンで学んだことを活かしてまたこの場に立てるよう、頑張っていきたいです。

部長 岡澤 一未

## バレーボール部



近畿ビーチバレー ボールジュニア大会

飯田 裕也 福島 悠人

## 柔道部



第56回近畿高等学校柔道新人大会 (H27. 2. 1)  
女子団体 出場

私たち柔道部は今年、女子が近畿大会に出場しました。これからも1つでも多くの試合に勝てるよう、日々精進していきます。

入沢 望結

## 陸上部

第68回近畿地区高等学校  
陸上競技対校選手権大会

女子4×100mR 準決勝進出  
女子円盤投げ 桑田つみき 出場



平成25～27年卒

## 進路状況

(現役合格数)

## 1. 国立大学

大学名	27年	26年	25年
北教大創路校	1		
秋田大		1	
電気通信大	1		
信州大	1	1	
静岡大		1	
三重大		2	
滋賀大	1		
京都大	2	1	
京都教育大	2		1
京都工芸織維大	1		2
大阪大	1	2	3
大阪教育大	3		2
神戸大	1		3
兵庫教育大	4	3	2
奈良教育大	1		1
鳥取大	3		
島根大	1	1	
岡山大	3	2	4
広島大	4		1
徳島大	9	7	4
鳴門教育大	1	1	1
香川大	2	1	4
愛媛大	1	3	2
高知大		4	1
福岡教育大			1
鹿児島大		1	
琉球大		1	
国立大合計	43	30	34

## 2. 公立大学

大学名	27年	26年	25年
国際教養大	1	1	
金沢美術工芸大			1
福井県立大		1	
大阪市立大	1	2	2
大阪府立大			2
兵庫県立大	7	2	6
神戸市外大	2	1	
奈良県立大	1		
鳥取環境大		1	
岡山県立大	1	1	
尾道市立大		1	
県立広島大	2	1	
福山市立大			1
愛媛医療技術大		1	1
高知工科大	1		1
公立大合計	16	12	14

## 3. 私立大学

大学名	27年	26年	25年
酪農学園大			1
城西大			1
獨協大	1		
文京学院大		1	
青山学院大		1	1
学習院大			1
慶應大	1		
国土館大		1	1
駒澤大		3	
上智大			1
創価大	1		
多摩美大		1	
中央大	1	1	
帝京大		1	1
東海大			1
東京造形大		1	
東京農大	1	1	
東洋大		1	
法政大	1		
武蔵野大	1		
武蔵野美大		2	
明治大		1	3
明治学院大	1		
立正大		2	
早稲田大	1	1	1
麻布大	1		
神奈川大	1		

大学名	27年	26年	25年
相模女子大	3		
金沢工大	7	1	
岐阜経大	1		
愛知学院大	1		
金城学院大		1	
堀山女子学園大	2		
中京大	3		
豊田工大		1	
名古屋学院大	2		
名古屋経大	1		
南山大	1		
日本福祉大		1	
名城大	1		
皇學館大	1		
鈴鹿医療科学大	1		
平安女学院大	1		
長浜バイオ大	1	1	
聖泉大		1	
京都外大	7	3	5
京都学園大		1	
京都産業大	12	12	14
京都女子大	4	3	4
京都精華大			2
京都造形芸大	2	3	
京都橘大	10	2	4
京都薬大			1
京都光華女子大	1	1	1
同志社大	9	5	6
同志社女子大	5	3	5
花園大		1	
佛教大	18	20	12
立命館大	39	11	22
龍谷大	24	19	5
京都文教大		2	
追手門学院大	2		
大阪音大		1	
大阪学院大		1	
大阪経大	6	4	2
大阪芸大		2	
大阪工大		6	8
大阪国際大		3	
大阪産大		3	
大阪体育大	3		
大阪電気通信大		4	
大阪薬大	1	2	
大阪大谷大	5	1	2
関西大	30	17	24
関西外大	11	7	14
近畿大	27	40	32
四天王寺大	10	1	2
摂南大	6		
帝塚山学院大		1	
梅花女子大		1	
阪南大	1	1	
桃山学院大	3	1	
関西福祉科学大		1	2
羽衣国際大		1	
大阪成蹊大	1		
関西医療大	3	1	1
大阪女学院大		1	
藍野大	3	1	2
大阪保健医療大	1		1
大和大		4	
大手前大	1	1	
関西学院大	32	10	18
甲南大	15	18	14
甲南女子大	4	7	3
神戸海星女子大	1	2	2
神戸学院大	13	15	18
神戸芸術工科大		2	
神戸国際大	1	1	
神戸女学院大	2	2	2
神戸女子大	13	15	8
神戸薬大	4	4	
神戸松蔭女子大	4	1	1
神戸親和女子大	7	7	3
園田学園女子大	2	5	1
姫路獨協大	2	3	
兵庫大	3	3	
武庫川女子大	22	7	14
流通科学大	5	2	1
関西国際大		1	1

大学名	27年	26年	25年
関西看護医療大	1	4	1
兵庫医療大	4	3	3
神戸常盤大	6	2	4
宝塚医療大	1	3	1
帝塚山大	5	3	
天理大	1		
畿央大	1	13	8
高野山大		1	
岡山理大	1	9	6
川崎医療福祉大	1		
吉備国際大			1
倉敷芸術科学大			1
くらしき作用大			1
環太平洋大	1		
広島国際大	2	2	2
日赤広島看護大	1		
四国大		2	1
徳島文理大	5	14	4
純真学園大		1	
私立大合計	441	362	319

## 4. 文部省所管外の大学校

学校名	27年	26年	25年
防衛大学校			1
大学校合計			1

## 5. 短大

短大名	27年	26年	25年
倉敷市立短	1		1
中日本自動車短			1
四天王寺大短大	1		
大阪芸術大短大	1		1
神戸女短	11	11	6
神戸常盤大短大	1	1	
聖和短		1	
園田学園女大短			1
武庫川女大短大	9	9	9
徳島文理大短大	2		1
短大合計	26	22	20

## 6. 専門学校

学校名	27年	26年	25年
看護系			
(獨)京都医療センター附属京都看護専門学校	1		1
(獨)大阪医療センター附属看護専門		1	
(獨)大阪南医療センター附属看護専門		1	1
柏原看護専門		1	1
宝塚市立看護専門	1		
公立八鹿病院看護専門		2	
(獨)東徳島医療センター附属看護専門	3	1	
(獨)鳴門病院附属看護専門		1	
(獨)善通寺病院附属看護専門			2
(獨)愛媛医療センター付属看護			1
横浜労災看護専門		1	
丹波市立看護専門	1		
愛仁会看護専門	2		
関西医科大学附属看護専門		1	
近畿大学付属看護専門	1		
社会福祉法人枚方慈育園看護専門		3	
大阪済生中津看護専門		1	
大阪赤十字看護専門	1	1	
尼崎健康財团看護専門		1	
神戸市医師会看護専門	2		
神戸看護専門	1		
神戸中央病院附看(旧社保)	2	1	
西宮市医師会看護専門		1	1
西神看護専門		1	
相生市看護専門		1	
播磨看護専門			1
関西労災看護専門	1	1	
岡山労災看護専門	1		
健康保险鳴門看護専門		2	
香川看護専門		1	
医療系			
兵庫県総合衛生学院専門	1	1	
日本聴能言語福祉学院			1
関西健康科学専門			1
行岡医学技術専門	1	1	
阪奈中央リハビリ専門	1		
清恵会医療専門		1	
大阪医療福祉専門		1	2
大阪大学附属歯科技工専門		1	
東洋医療専門			1

学校名	27年	26年	25年
日本歯科学院専	1		
神戸総合医療専門	1	2	2
神戸東洋医療学院			1
兵庫歯科学院専門		1	
関西総合リハビリテーション専	4	3	1
徳島歯科学院専門			1
医療系外			
名古屋医療秘書福祉専門	1		
京都製菓技術専門		1	
桂Makeup デザイン専	1		
日本外国语専	1		
キャットミージックカレッジ専	2		
ビジュアルアーツ専門			1
ホスピタリティーリース専門			1
ル・トーア東亜美容専門	1		
関西美容専門	2		
修成建設専門		1	
専 H A L 大阪			1
大原スポーツ&保育専門		1	1
大阪医専	1		
大阪調理製菓専門	2	1	
辻調理師専門	1		1
大阪ベビー動物看護専門		1	
日本調理製菓専門		1	
神戸国際調理製菓			1
関西保育福祉専門		1	
神戸ベルエベル専門		1	
神戸製菓専門		3	1
神戸電子専門			1
神戸動植物環境専門			1
神戸理容美容専門			1
大原簿記専門	2	1	3
六歌デザイン専門			1
京都建築大学校	1		
トヨタ神戸自動車大学校	2		
専門学校合計	44	45	32

## 7. 各種学校

学校名	27年	26年	25年


<tbl\_r cells="4" ix="2"

## 洲本高等学校同窓会役員組織図

永田 秀一 会長(高14) 坪内 隆佳 副会長(高23) 川端 通 副会長(定17) 坂本 昌文 専務理事(高31) 野口 哲司 常務理事(高31) 田中ゆみ子 会計理事(高36)	120周年準備委員会 ※高津 匠雄 (前会長) ☆上崎 勝規 (高26) 池田 亮 (高31) 木下 学 (高39) 津田 喜人 (東京支部長)	(顧問) 三根 一乗 (元会長) 越田 佳孝 (校長) (監事) 原田 直 (高27) 片岡 決 (定15)
事業委員会		
※山中 浩樹(高32)	酒井 一成(高34)	奥井 卓(高35)
☆高鍋 直人(高28)	大岡 弘文(高35)	喜田 昌宏(高36)
細川 未勝(定10)	原 一雅(高36)	太田 雅子(高16)
菱田 益行(定10)	琴井谷俊明(高37)	大継 辰男(定8)
川上 英輔(定15)	鵜飼 徹(高38)	高谷 順子(高15)
岡田 美佐子(高19)	森 朝昭(高47)	向山 和義(高18)
谷 邦治(高20)	久米 隆介(高50)	津田 孝二(高20)
本間 龍己(高23)	豊島 亜美(高53)	森 敦子(高28)
池田 鉄司(高29)	柴崎 宏明(高39)	藤岡 照三(高24)
高田 庄司(高29)	金戸 雅史(高39)	教学 麻奈美(高29)
嵯峨 栄二(高34)		佐藤 加織(高32)
		毛利 美穂子(高33)
広報・ホームページ委員会		
※高橋 雅彦(高37)	奥井 卓(高35)	※高橋 雅彦(高37)
☆谷 文雅(高30)	喜田 昌宏(高36)	☆谷 文雅(高30)
太田 雅子(高16)	小西みそぎ(高38)	太田 雅子(高16)
大継 辰男(定8)	粟飯原 栄(高38)	大継 辰男(定8)
高谷 順子(高15)	小林 恭子(高39)	高谷 順子(高15)
向山 和義(高18)	賀本 孝代(高40)	向山 和義(高18)
津田 孝二(高20)	金崎 真之(高43)	津田 孝二(高20)
森 敦子(高28)	清水 和代(高32)	森 敦子(高28)
藤岡 照三(高24)	東 年伸(高40)	藤岡 照三(高24)
教学 麻奈美(高29)	井上 智仁(高50)	教学 麻奈美(高29)
佐藤 加織(高32)	岩岡 寛典(高53)	佐藤 加織(高32)
毛利 美穂子(高33)		毛利 美穂子(高33)

※は各委員会委員長

☆は各委員会副委員長

## 平成26年度 収支決算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

総 収 入 額	5, 388, 733
総 支 出 額	4, 672, 232
差 引 額	716, 501

### 一般会計

#### 1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	摘要
前 年 度 繰 越 金	1,724,033	1,724,033	0	
入 会 金	536,000	540,000	4,000	全日制 240名 定時制 30名
会 費	3,101,000	3,115,500	14,500	全日制 716名 × @4,000(3年分割) 2,864,000 定時制 20名 × @12,000(卒業時一括) 240,000 終身会費 10,000 × 1名 + 3年会費 1,500 × 1名 11,500
雑 収 入	8,967	9,200	233	預金利息200 会員名簿 2冊 × @4,500
合 計	5,370,000	5,388,733	18,733	

#### 2. 支出の部

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事 業 費	3,610,000	3,245,510	364,490	
内 訳 会 報	1,150,000	1,253,662	△103,662	印刷代金・郵送費等
内 訳 総 会 費	300,000	297,889	2,111	講師謝金・交通費・会場費等
内 訳 定 時 制 活 動 費	200,000	200,000	0	創立記念講師謝金・交通費・夜学の歳時記
内 訳 支 部 活 動 費	200,000	200,000	0	東京支部活動費助成
内 訳 ホームページ委員会	100,000	64,324	35,676	ホームページ更新費用
内 訳 期 同 窓 会 通 信 費	250,000	190,504	59,496	期の同窓会通信費
内 訳 部 活 動 振 興 費	600,000	459,000	141,000	全国大会・近畿大会 助成金等
内 訳 報 償 費	200,000	200,000	0	お琴の先生謝礼金
内 訳 卒 業 記 念 品	240,000	229,333	10,667	卒業証書ホルダー
内 訳 C D 制 作 費	0	0	0	校歌CD制作費 3年に1回制作(入学生に贈呈)
内 訳 慶 弔 費	120,000	54,000	66,000	会員・生徒・職員慶弔費
内 訳 そ の 他	250,000	96,798	153,202	全日制創立記念日諸経費
内 訳 会 議 費	180,000	116,280	63,720	理事会・常任理事会等費用
内 訳 旅 費 ・ 交 通 費	200,000	100,000	100,000	東京支部総会へ参加等
内 訳 事 務 費	740,000	710,442	29,558	
内 訳 通 信 費	50,000	35,362	14,638	切手・葉書・電話費・振込手数料等
内 訳 事 務 用 品	80,000	65,080	14,920	パソコン用品・印刷用紙・事務用品等
内 訳 手 当	560,000	560,000	0	事務職員手当
内 訳 職 員 退 職 金 引 当 金	50,000	50,000	0	事務職員退職金積み立て
内 訳 施 設 ・ 設 备 費	100,000	0	100,000	資料館整備費・栄光への記録文字追加費等
内 訳 記 念 事 業 基 金	500,000	500,000	0	全日制・定時制周年事業等
内 訳 雜 費	30,000	0	30,000	
内 訳 予 備 費	10,000	0	10,000	
合 計	5,370,000	4,672,232	697,768	

上記の出納を検査し、正當かつ正確であることを認めます。

平成27年5月11日

監事 島田 晓  
川端 通

## 平成26年度 事業報告

4月22日 第1回常任委員会	洲本高校 応接室
5月8日 第1回事業委員会	洲本高校 応接室
5月9日 創立記念式(全日制)	洲本高校 体育館
講師 清川あさみさん(アーティスト)と 藤堂裕氏(漫画家)(高50期)	講師 清川あさみさん(アーティスト)と 藤堂裕氏(漫画家)(高50期)
演題 「未来の作り方」	演題 「未来の作り方」
5月9日 創立記念式(定時制)	洲本高校 集会室
講師 山田廣美さん(定15期)	講師 山田廣美さん(定15期)
(兵庫県美容業生活衛生同業組合 副理事長)	(兵庫県美容業生活衛生同業組合 副理事長)
演題 「挫折をバネに生きる!!」	演題 「挫折をバネに生きる!!」
5月20日 第1回理事会	あやぐもホール
5月23日 第1回広報委員会	洲本高校 応接室
6月22日 総会	洲本市文化体育館
記念講演講師 羽原俊祐氏(高27期)	記念講演講師 羽原俊祐氏(高27期)
演題 「私のセメントとの関わり～明石海峡大橋から東日本大震災まで～」	演題 「私のセメントとの関わり～明石海峡大橋から東日本大震災まで～」
懇親会	タイムアフタタイム
7月2日 第2回広報委員会	洲本高校 応接室
8月5~7日 東京未来探究ツアー	東京都
8月 学校案内制作 イラスト:藤堂裕氏	学校案内制作 イラスト:藤堂裕氏
10月1日 同窓会報発行	同窓会報発行
10月27日 第2回常任理事会	洲本高校 応接室
11月22日 東京支部総会	東京 霞ヶ関
講演 講師 永田秀一氏(高14期)	講演 講師 永田秀一氏(高14期)
演題 「永田秀次郎の生き方、考え方」	演題 「永田秀次郎の生き方、考え方」
12月12日 第2回理事会	
役員・理事並びにO B職員懇親会	海月館
2月26日 67期生同窓会入会式	洲本高校 体育館
通年 図書館への書籍寄贈	図書館への書籍寄贈



## 平成28年度 定時制 同窓会総会(各分校含む)のご案内

日 時 平成28年5月15日(日)  
 受 付 午後4時より 開会 午後5時  
 場 所 観光旅館 海月館 洲本市海岸通1-3-11  
 TEL 0799-22-1100  
 議 題 平成27年度事業・会計報告  
       平成28年度事業・会計計画  
       その他  
 ☆懇親会(同じ会場にて6時より)  
       会費 10,000円  
       宿泊希望者 プラス 5,000円  
 ☆ 総会参加者は12月30日までに下記へご連絡ください。詳しい案内状を送付します。  
 TEL・FAX 0799-22-9739  
 (定時制同窓会長 川端宅)

## 平成28年度 洲本高校同窓会総会のご案内

日 時 平成28年6月26日(日)  
 受 付 9:30  
 開 会 9:45  
 懇親会 12:15  
 (場所 タイムアフタータイム)  
 会 場 洲本市文化体育館1階会議室  
 洲本市塩屋1丁目1-17  
 TEL 0799-25-3321

詳細は5月にホームページでお知らせいたします。  
 ホームページアドレス [www.sukou-dousoukai.com/](http://www.sukou-dousoukai.com/)

[洲本高校同窓会](#) [検索](#)

## 同窓会報広告募集のご案内

平成28~30年度発行の同窓会報3号分に掲載の広告(有料)を募集します。同窓会報を継続して発行していくため、同窓生関係企業様にご協力お願いします。

発行部数 28・29年度:約1万部(会費納入者)  
 30年度:約2.2万部(住所判明者全員)

サ イ ズ 1枠:タテ約3cm×ヨコ約6cm  
 ※表・裏表紙を除く各頁の最下段に3枠ずつ掲載予定。

広告料金 1枠:40,000円

※お一人最大3枠(約3×19cm)まで申込可能。  
 印刷はモノクロ。3年(3号)連続で基本同内容を掲載。

申込期限 平成28年5月末(募集数30枠に達し次第締切)

申込方法 HP(<http://www.sukou-dousoukai.com/>)  
 より申込書をダウンロードし、事務局までお申込み下さい。

事務局 TEL:0799-22-1550 FAX:0799-22-3494  
 E-mail: [info@sukou-dousoukai.com](mailto:info@sukou-dousoukai.com)

## 平成27年度洲本高校同窓会東京支部 第11回 総会・懇親会開催のご案内

開催日時:平成27年11月7日(土)  
 受付:10:00 総会:11:00 懇親会:12:30

開催場所:東京霞ヶ関ビル35階「東海大学校友会館」  
 TEL:03-3581-0121

総会議事:平成26年度会計決算報告  
 平成27年度予算報告

講演会:講師 浦上雅史(うらかみまさふみ)氏  
 演題 「淡路の文明開化と教育」  
 講師略歴 洲高23期(1971年卒)  
 元 淡路文化史料館館長  
 現 厳島神社宮司並びに日本考古学协会会员  
 講師の一語 幕末明治の激動期に近代淡路の先覚者たるリーダーがいました。

その人の名は安倍喜平(あべきへい)と言います。安倍喜平は自ら塾を開き多くの人材を育て、近代化の道を切り開いています。喜平が歩んだ道は、郵便、電信局の設置、淡路新聞の発行、蒸気船の開通、紡績会社の誘致、など今日の洲本の基礎を築いたといっても過言ではありません。そして、教育改革にも深くかかわり、県立洲本中学校が生まれたのも喜平達の尽力があったからです。淡路の福沢諭吉と称される安倍喜平という人物を通じて、淡路の近代化と洲中が生まれまるまでの教育制度の変遷を皆さんと共に見ていただきたいと思います。

支部年会費:普通会員2,000円

総会懇親会費:8,000円(平成22年以降の卒業で、首都圏に在学中の学生の方は、事前申込みで無料招待)

出欠の返事および会費振込みは、10月20日(火)までに  
 よろしくお願い申し上げます。

23年から立ち上げております。東京支部ホームページを平成会員限定ページのID tky2010suko  
 会員限定ページのパスワード p8cjurce  
 是非アクセスして見て下さる。このホームページで東京支部の活動案内等ご覧頂けると思います。尚東京在住の洲高同窓生の大勢皆様からは年会費を振り込みしております。是非とも東京支部総会と懇親会を開催し活動しております。東京支部総会に参加して下さい。初めての方大歓迎致します。

この原稿がお手元に届くころには、大分涼しくなっていることでしょうが、皆様お元気でお過ごしください。洲本高校同窓会では、6月の総会において高津会長が退任せられ永田会長が選任されました。新会長の下、各委員会の陣容も刷新されました。また、創立二十周年準備委員会も新設され記念事業に向けて活動を開始しております。この原稿がお手元に届くころには、大分涼しくなっていることでしょうが、皆様お元気でお過ごしください。洲本高校同窓会では、6月の総会において高津会長が退任せられ永田会長が選任されました。新会長の下、各委員会の陣容も刷新されました。また、創立二十周年準備委員会も新設され記念事業に向けて活動を開始しております。

## 入会の案内

## 編集後記